



亀屋良永 店



棟方志功先生



御池通り ウィンドウ



干菓子を添え、季節感を



亀屋良永は昭和 58 年に法人に組織を変更し(株)亀屋良永と改めました。創業は黒船が日本にやってきた少し前、天保 3 年(1832)に創業、現代 6 代目が店を守っています。亀甲の焼き目に独特の蜜を塗った麩焼きせんべいの代表菓子「御池煎餅」は香ばしくサクサクとした食感は、茶道をはじめ、病気のお見舞い、子供のおやつに用途も広く大変便利に使って頂いております。その他、季節を彩る色々の和菓子を、用意させて頂いております。

〒604-8091 京都市中京区寺町通り御池下ル下本能寺前町 504

定休日 日曜日、(第一、第三水曜日)

営業時間 8:00~18:00

**(株) 亀屋良永**

☎ 075-231-7850



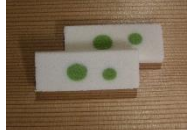
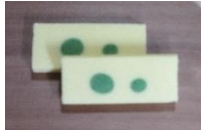




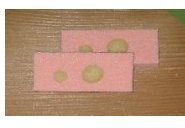

FAX 075-251-0066



## 大原路

京の洛北大原は季節を肌で感じるところです。

春の桜に秋もみじ、夏の清流冬の雪、四季を彩る主役たち

				
	梅だより	芽吹く	春の色	花あやめ
				
あじさい	夏の雲	月あかり	秋の山	雪の朝

## 松露 (寒椿、うらら、かきつばた、茶花咲く、菊の香)

					
	寒椿	うらら	かきつばた	茶花咲く	菊の香



「光琳」

明智家家紋

織田家家紋



「時の流れ」

## 菓心求道

物堅い有職、いかめしい故実もさる事ながら、美しい京都の、床しい日本の風物をかみしめ尚新しくありたいもの  
夏は涼しく、冬暖かに、花を添え、時雨をきかせ、わづらいの世から去る心のひと時、そんな事も思ひながらの商売冥利を喜び励んで居ります。